

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月19日
 所管課名:企画調整課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:宝塚アーバンサービス株式会社
(2)外郭団体所在地:宝塚市末広町3番78号
(3)設立年月日:平成6年4月1日
(4)ホームページアドレス:http://www.

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	30,000
うち宝塚市の出資額	30,000
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

水道事業における給水装置等補修工事、設計業務、施行管理業務、施設維持管理業務及びメーター計量業務
下水道事業における設計業務、施行管理業務、施設調査業務及び水洗化促進業務
宝塚市から委託を受けてする、公園・図書館・公民館等公共施設の維持管理業務
駐車場経営業務
地方自治法第2条第2項に規定されている事務で、宝塚市から委託を受けてする受託業務
自家用自動車のリース業務
上記業務に附帯する一切の業務

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	58,387	62,477	60,064
	負債	5,384	7,501	4,909
	資本	53,003	54,975	55,155
	累積欠損金	-	-	-

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	149,707	138,876	131,272
	経常損益	7,331	3,704	506
	当期損益	5,318	1,972	179
	減価償却前当期損益	6,343	3,305	1,435

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)	0	0	0	
利子補給金	0	0	0	
税の減免額	0	0	0	
その他()	0	0	0	
合計	0	0	0	-
(参考)委託料	141,949	132,316	129,841	

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:
出資金	30,000	30,000	30,000	
合計	30,000	30,000	30,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

経理規程第4条において「経理に関する事務及び業務については、適正な内部牽制制度を設けて公正で能率的な運営が行われるよう務めなければならない。」と規定されているが、制度としては設置されていない。組織の実態にあった合理的でかつ牽制機能が働くような方法の検討が必要である。(平成13年4月13日 市監査委員監査)

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。
 貸借対照表 資本 正味財産の部合計 損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産計算書
 累積欠損金 正味財産の部合計 総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))
 経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)
 当期損益 当期正味財産増減額
 減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月19日
 所管課名:スポーツ振興課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:(財)宝塚市スポーツ教育振興公社
(2)外郭団体所在地:宝塚市小浜1丁目1番11号
(3)設立年月日:1987/04/01
(4)ホームページアドレス:http://www.h3.dion.ne.jp/~kousha/sub6.htm

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	302,232
うち宝塚市の出資額	302,000
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

健康保持のための教室及び各種スポーツ教室の開催
指導者の養成及びリーダーバンクの開設
学校給食用物資の購入資金の出納に関する事業
社会体育施設の管理運営の受託事業
健康・スポーツに関する調査研究及び情報提供
その他目的を達成するために必要な事業

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	338,826	344,171	344,573
	負債	20,616	24,078	22,472
	資本	318,210	320,093	322,101
	累積欠損金	318,210	320,093	322,101

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	350,852	321,893	331,993
	経常損益	2,184	1,883	2,008
	当期損益	2,184	1,883	2,008
	減価償却前当期損益	2,184	1,883	2,008

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)				
利子補給金				
税の減免額				
その他()				
合計	0	0	0	-
(参考)委託料				

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高				本年度中の貸付状況:
貸付金残高				
出資金	302,000	302,000	302,000	
合計	302,000	302,000	302,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

市監査委員においては、出資金及び委託料は、目的に沿い、出納その他の事務についてもおおむね良好に執行されていると認められた。所管課においても、適正に事務が執行されていると認めた。
--

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積欠損金 正味財産の部合計

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月26日
 所管課名:生活環境課(新霊園担当)

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:財団法人宝塚市都市整備公社
(2)外郭団体所在地:宝塚市東洋町1番1号
(3)設立年月日:昭和45年5月29日
(4)ホームページアドレス:http://www.city.takarazuka.hyogo.jp

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	1,500
うち宝塚市の出資額	1,500
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

公園墓地の建設、貸出し及び管理運営
市営霊園及び市営火葬場の管理運営の受託
市立小学校及び市立中学校の校舎等の建設・貸付及び譲渡
市営の自転車等駐車場及び放置自転車等返還所の建設及び管理運営の受託
放置自転車等の移動、返還等の補助業務の受託
前各号に掲げる事業に関する必要な事業

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	1,440,077	1,452,531	1,467,657
	負債	1,412,276	1,424,727	1,435,352
	資本	27,801	27,804	32,305
	累積剰余金	27,801	27,804	32,305

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	32,175	29,033	31,563
	経常損益	2	3	4,501
	当期損益	2	3	4,501
	減価償却前当期損益	2	3	4,501

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)	0	0	0	
利子補給金	0	0	0	
税の減免額	0	0	0	
その他()				
合計	0	0	0	-
(参考)委託料	32,142	29,030	25,869	放置自転車等対策等事業委託費等

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高	0	3,258,000	1,422,000	新公園墓地整備事業用資金
貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:
出資金	1,500	1,500	1,500	
合計	1,500	3,259,500	1,423,500	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

市が損失補償する借入金及び公の施設の管理に係る委託料は、おおむね適正であると認められたが、会計事務処理等について多くの問題点の指摘を受け、改善を図っている。
--

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積欠損金 正味財産の部合計

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月20日
所管課名:市街地整備課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:ソリオ宝塚都市開発株式会社
(2)外郭団体所在地:宝塚市栄町2丁目1番1号
(3)設立年月日:平成4年4月23日
(4)ホームページアドレス:http://www.

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	1,851,500
うち宝塚市の出資額	915,000
宝塚市の出資割合(%)	49.42%

3 事業内容

不動産賃貸業務
駐車場運営業務
施設管理業務
TMO業務

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	5,117,207	4,988,818	4,186,239
	負債	2,522,344	2,331,860	2,202,604
	資本	2,594,862	2,656,958	1,983,635
	累積欠損金			

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	884,912	850,363	821,687
	経常損益	133,384	118,794	128,906
	当期損益	75,613	62,582	-671,617
	減価償却前当期損益			

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)	34,076	17,611	20,836	TMO補助金
利子補給金				
税の減免額				
その他()				
合計	34,076	17,611	20,836	-
(参考)委託料	44,176	41,483	39,391	公共施設管理

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高				
貸付金残高				本年度中の貸付状況:
出資金	915,000	915,000	915,000	
合計	915,000	915,000	915,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

経営状況と財務状況の分析を行い、企業体質を強化し堅実な経営に努める必要がある。

7 その他特記事項

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積欠損金 正味財産の部合計

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月20日

所管課名:市街地整備課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:逆瀬川都市開発株式会社
(2)外郭団体所在地:宝塚市逆瀬川1-11-1 アピア2
(3)設立年月日:昭和60年12月7日
(4)ホームページアドレス:http://www.apia1-2.com(但しアピアホームへ)

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	246,000
うち宝塚市の出資額	30,000
宝塚市の出資割合(%)	12

3 事業内容

不動産の売買、賃貸および管理業務
駐車場、駐輪場の管理運営業務
商業施設、文化教養施設、娯楽施設及びスポーツ施設の管理運営業務
店舗販売の促進企画、事務、調査研究及び指導業務
都市計画、都市再開発の計画、調査研究及び指導業務
衣料品、日用雑貨、飲食料品の販売及び当選金附証券の受託販売 その他

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	1,160,337	1,135,648	1,022,245
	負債	864,367	836,841	720,111
	資本	295,970	298,807	302,134
	累積欠損金			

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	415,207	417,131	403,838
	経常損益	2,783	23,314	5,746
	当期損益	1,574	2,836	3,326
	減価償却前当期損益	16,971	23,135	20,141

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)				
利子補給金				
税の減免額				
その他()				
合計	0	0	0	-
(参考)委託料				

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高				
貸付金残高	200,000	200,000	200,000	本年度中の貸付状況:
出資金	30,000	30,000	30,000	
合計	230,000	230,000	230,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

経営安定化のため、一層の経費削減に取り組むと共に経営改善に向け最善の努力が必要である。

7 その他特記事項

従前より逆瀬川都市開発株式会社を中心となり、アピア1,2の商業活性化に取り組む他、平成17年度は、逆瀬川地域全体を対象とする全国都市再生モデル調査(総理府都市再生本部所管)に採択された「逆瀬川都市再生モデル調査」事業の事務局として、地域住民と協力しながら積極的に活動した。今後、同社は、地域住民と連携して、逆瀬川駅前地区及び地域の発展に寄与すべく会社を挙げて貢献する方針。

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積欠損金 正味財産の部合計

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月26日
所管課名:農政課

1 第三セクター等の名称等

(1)第三セクター等名:宝塚山本カーテン・クリエティブ株式会社
(2)第三セクター等所在地:宝塚市山本東2丁目2番1号
(3)設立年月日:平成11年11月11日
(4)ホームページアドレス:http://www.aiaipark.co.jp

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	50,000
うち宝塚市の出資額	25,500
宝塚市の出資割合(%)	51

3 事業内容

植木・花き産業の振興に関すること。
植木・花きの情報の収集及び分析、並びに植木・花きに係る研究、開発及び研修に関すること。
多目的教室、モデル展示場、駐車場の利用許可並びに利用料金の徴収、減免及び還付に関すること。
施設及び附属施設の維持管理に関すること。
自主事業の実施運営
その他園芸振興センターの管理運営に必要な業務

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	47,585	65,708	79,573
	負債	33,914	36,298	36,398
	資本	13,671	29,410	43,175
	累積欠損金	36,329	20,590	6,825

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	266,349	262,219	255,337
	経常損益	6,756	12,981	13,994
	当期損益	7,055	15,739	13,764
	減価償却前当期損益	16,146	17,565	15,368

5 第三セクター等への関与の状況

(1)公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)	0	0	0	
利子補給金	0	0	0	
税の減免額	0	0	0	
その他(貸付金)	0	0	0	
合計	0	0	0	
(参考)委託料	14,854	14,182	13,621	園芸振興、地域振興、園芸アドバイザー及びオープンガーデン普及促進事業等委託

(2)その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:
出資金	25,500	25,500	25,500	
合計	25,500	25,500	25,500	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

17年度の当期利益は1,376万円となり、平成14年度以降4年連続黒字を保っているが、売上額自体は毎年若干減少している。今後は、これまで以上に消費者の動向を見極め、なお一層効果的なPRを展開する等経営努力を行い、売上げの増大を図る必要がある。

7 その他特記事項

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積欠損金 正味財産の部合計

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月26日
 所管課名:国際文化課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:(財)宝塚市文化振興財団
(2)外郭団体所在地:宝塚市栄町2丁目1-1ソリオ3F
(3)設立年月日:平成6年4月1日
(4)ホームページアドレス:http://www.takarazuka-c.jp/

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	401,491
うち宝塚市の出資額	401,491
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

芸術文化鑑賞事業の開催
地域の文化活動の育成及び援助
地域の文化に関する情報の収集及び提供
市の芸術文化事業及び市立文化施設の管理運営の受託
その他目的を達成するために必要な事業

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	510,973	448,812	454,768
	負債	18,383	21,600	18,620
	資本	492,590	427,212	436,148
	累積欠損金	0	0	

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	219,473	214,780	216,568
	経常損益	212,099	280,159	207,631
	当期損益	7,374	-65,379	8,937
	減価償却前当期損益	7,374	-65,379	8,937

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)	88,039	80,673	82,598	
利子補給金				
税の減免額				
その他()				
合計	88,039	80,673	82,598	-
(参考)委託料	94,093	98,102	94,035	

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:
出資金	401,491	401,491	401,491	
合計	401,491	401,491	401,491	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

--

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積欠損金 正味財産の部合計

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月23日
所管課名:環境総務課

1 第三セクター等の名称等

(1) 第三セクター等名: 宝塚市都市環境サービス株式会社
(2) 第三セクター等所在地: 宝塚市小浜1丁目2番15号
(3) 設立年月日: 平成8年2月29日
(4) ホームページアドレス: 無し

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	30,000
うち宝塚市の出資額	30,000
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

し尿収集運搬業務
浄化槽点検、清掃業務
ごみ箱ごみ収集業務
散乱ごみ収集業務
公衆便所清掃及び保守点検管理業務

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	13,318	10,797	7,451
	負債	501	913	1,061
	資本	12,817	9,884	6,390
	累積欠損金	17,182	20,116	23,610

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	56,464	54,611	59,307
	経常損益	-6,398	-2,937	-3,484
	当期損益	-6,394	-2,933	-3,494
	減価償却前当期損益	-4,420	-1,100	-2,625

5 第三セクター等への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)				
利子補給金				
税の減免額				
その他()				
合計	0	0	0	-
(参考)委託料	53,752	47,382		

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高				
貸付金残高				本年度中の貸付状況: 4/3~3/31 20,000千円
出資金	30,000	30,000	30,000	
合計	30,000	30,000	30,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

会社は設立目的に沿って運営され、貸付金は目的に沿い、出納その他の事務についても適正に執行されていると認められる。会社の経営についてはし尿の収集運搬業務が市の責務であることを踏まえ、会社の経営について抜本的な改善を図るよう指導するとともに、市の支援のあり方についても十分検討すること。(市監査委員)

毎年、経営状況、人事管理、経理事務等について、諸帳簿の調査及び関係職員からの聴取により業務調査を実施、諸経費の圧迫、業務拡大による経営の改善などを指摘している。(所管課)

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積欠損金 正味財産の部合計

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月27日
 所管課名:いきがい福祉課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:財団法人宝塚市保健福祉サービス公社
(2)外郭団体所在地:宝塚市小浜4丁目5-6
(3)設立年月日:平成7年3月9日
(4)ホームページアドレス:http://www.takarazuka-fukushi.or.jp

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	200,000
うち宝塚市の出資額	200,000
宝塚市の出資割合(%)	100%

3 事業内容

高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発及び市民に対する介護技術等の研修
老人訪問看護事業及び訪問看護事業
宝塚市立介護老人保健施設の管理運営の受託・短期入所療養介護事業・通所リハビリテーション事業
訪問介護事業
通所介護事業
宝塚市からの高齢者等に対する保健福祉サービスに関する事業の受託

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	455,614	435,837	449,421
	負債	130,195	113,260	130,189
	資本	325,419	322,577	319,232
	累積欠損金			

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	905,010	908,809	895,765
	経常損益	9,210	2,841	3,344
	当期損益	9,210	2,841	3,344
	減価償却前当期損益	13,978	6,079	3,477

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)	7,022	2,000	0	固定資産取得事業費の一部補助
利子補給金				
税の減免額				
その他()				
合計	7,022	2,000	0	-
(参考)委託料	60,773	54,422	64,161	

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高				本年度中の貸付状況: 内1億円は運用財産である。
貸付金残高				
出資金	300,000	300,000	300,000	
合計	300,000	300,000	300,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

市監査委員及び所管課が監査を行ったところ、概ね適正に執行されていた。

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積欠損金 正味財産の部合計

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月23日
 所管課名:情報政策課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:株式会社 エフエム宝塚
(2)外郭団体所在地:宝塚市逆瀬川1-11-1
(3)設立年月日:平成12年4月19日
(4)ホームページアドレス:http://835.jp/

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	80,000
うち宝塚市の出資額	40,000
宝塚市の出資割合(%)	50

3 事業内容

放送法による一般放送事業
放送番組及び広告宣伝の企画、制作並びに請負
催事の企画、制作及び運営
書籍、雑誌その他の印刷物の企画、制作及び出版
情報処理サービス業及び情報提供サービス業
コンピュータのソフトウェアの開発
電気工事業
放送利用料の徴収受託業務
電気工事業

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	84,184	77,674	76,353
	負債	21,937	19,890	17,564
	資本	62,247	57,784	58,789
	累積欠損金	17,754	22,217	21,212

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	66,601	67,105	71,099
	経常損益	-3,408	-4,463	1,006
	当期損益	-3,408	-4,463	1,006
	減価償却前当期損益	1,467	539	1,006

5 外郭団体への関与の状況

(1)公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)	0	0	0	
利子補給金	0	0	0	
税の減免額	0	0	0	
その他()	0	0	0	
合計	0	0	0	-
(参考)委託料	54,096	54,095	54,095	コミュニティFM放送番組制作及び放送業務委託(広報課)

(2)その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:
出資金	40,000	40,000	40,000	
合計	40,000	40,000	40,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

平成17年度決算及び平成18年度経営見込みについて、平成19年3月に業務調査を行った。主に売上状況、今後の増収策等について聞き取りを行い、更なる営業努力を求めた。

7 その他特記事項

注 公益法人については、4 財務状況の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積欠損金 正味財産の部合計

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成19年3月22日

所管課名:管財用地課

1 第三セクター等の名称等

(1)第三セクター等名:宝塚市土地開発公社
(2)第三セクター等所在地:宝塚市東洋町1番1号
(3)設立年月日:昭和48年4月6日
(4)ホームページアドレス:http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/sub_file/01020104000000-3a.html

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	5,000
うち宝塚市の出資額	5,000
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

道路、公園その他の公共施設または公用施設の用に供する土地、公営企業の用に供する土地、地域の自然環境を保全することが特に必要な土地、史跡、名勝または天然記念物の保護または管理のために必要な土地、航空機騒音の障害を防止し、または軽減するために特に必要な土地の取得、造成その他の管理及び処分
住宅用地の造成事業並びに地域開発のためにする工業用地、及び流通業務団地の造成事業
国、地方公共団体その他公共的団体の委託に基づく土地の取得の斡旋、調査測量その他これらに類する業務

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総資産	18,346,722	15,856,735	13,077,889
	負債	17,668,087	14,938,227	12,892,413
	資本	678,635	918,508	185,476
	累積欠損金	0	0	0

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		15年度	16年度	17年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	2,029,023	3,404,477	3,398,739
	経常損益	98,742	258,172	511,241
	当期損益	98,742	239,872	732,531
	減価償却前当期損益	98,742	239,872	732,531

5 第三セクター等への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
補助金(助成金)				
利子補給金	49,351	51,183	48,209	会社の経営健全化促進のため、債務保証を付した金融機関からの借入金に係る利子の全額を補給
税の減免額				
その他()				
合計	49,351	51,183	48,209	-

(参考)委託料

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	15年度	16年度	17年度	
損失補償契約に係る債務残高				
貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:6/15~12/7*5,000,000千円、12/8~3/20*2,000,000千円
出資金	5,500	5,500	5,000	
合計	5,500	5,500	5,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

平成18年11月29日出資団体監査、財政援助団体監査の結果 (会社の経営健全化に関する意見及び要望事項等) 市は、平成18年3月29日に新たに公社経営健全化団体の指定を受けています。その経営健全化計画(平成18年度から平成22年度まで)によると、平成22年度までに公社保有土地の簿価総額を約24億7,100万円に減少させるため、市が公社保有の土地を逐次取得することとされています。 平成16年12月27日付け総務省の「土地開発公社経営健全化対策について」により、市が経営健全化計画に基づいて、民間事業者への貸付により有効利用を図ることを目的として、公社の債務保証等対象土地を取得する場合も起債対象とされることとなったため、この計画では市が取得した後、民間への貸付を予定している土地が含まれ、その起債総額は約6.9億円にのぼり、巨額の後年度負担が生じます。 市と公社の財務を連結ベースで見ると、早期に市が公社保有土地を取得することにより公社の負担を減じることがはやむを得ない措置であると考えられますが、取得した以上は、これらの土地を活用目的のないまま放置せず、最大限有効活用するよう努めてください。
--

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

貸借対照表	資本	正味財産の部合計	損益計算書	損益計算書	収支計算書及び正味財産計算書
累積欠損金	正味財産の部合計	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))	経常損益	当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)
		当期損益	当期正味財産増減額	減価償却前当期損益	当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)